

船舶保険における サイバーリスクへの対応

信頼できる海事デジタル社会構築に向けたセキュリティの役割

損害保険ジャパン株式会社

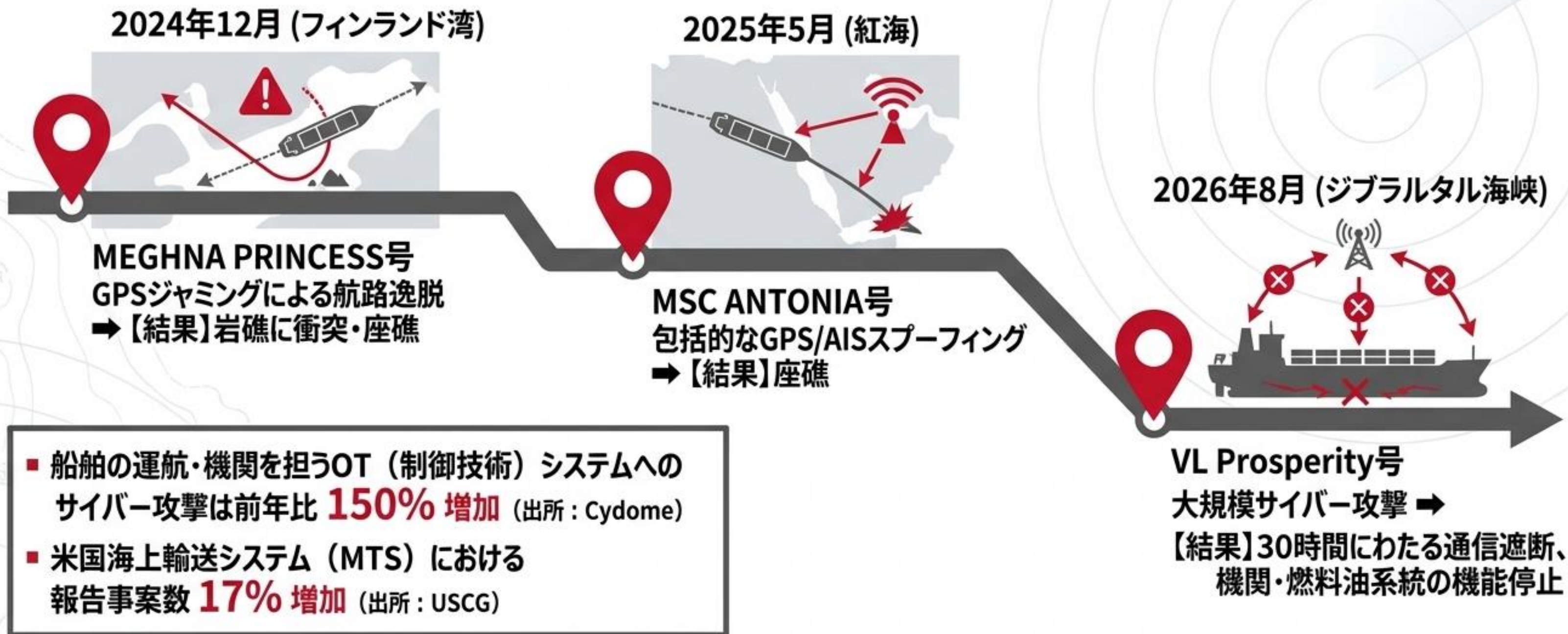
橋場 聖

令和8年10月14日

笹川平和財団 海洋政策研究所 セミナー

注：本資料には、AIによって生成されたコンテンツ（画像、文章等）が含まれています

海事サイバーリスクは「対岸の火事」から「現実の運航停止リスク」へ



船位不明や通信遮断は、即座に衝突・座礁、大規模な運航遅延を引き起こすフェーズに突入している。

従来の船舶保険に潜む死角：「サイレント・サイバー」と物理的損害の壁



【水面上：見えるリスク】

従来の船舶保険の基本要件 = 船体の物理的損害

悪意の立証の困難さ

「外部からのハッキング」か「不具合・過失」かの技術的究明は困難。事故調査の長期化、支払遅延の発生。

物理的損害を伴わない 経済損失

GNSS妨害（ジャミング・スプーフィング）による即時の運航停止。

甚大な逸失利益

入港禁止、拘留、安全確保のための出港延期による巨額の滞船料・不稼働損失。船体に損傷がなければ従来保険では「支払い対象外」。

デジタル化が進む海事社会において、物理的損害を前提とした従来の保険設計だけでは、事業者の財務リスクを移転しきれない。

業界初・無傷の経済損失もカバーする「専用型サイバー保険」の展開

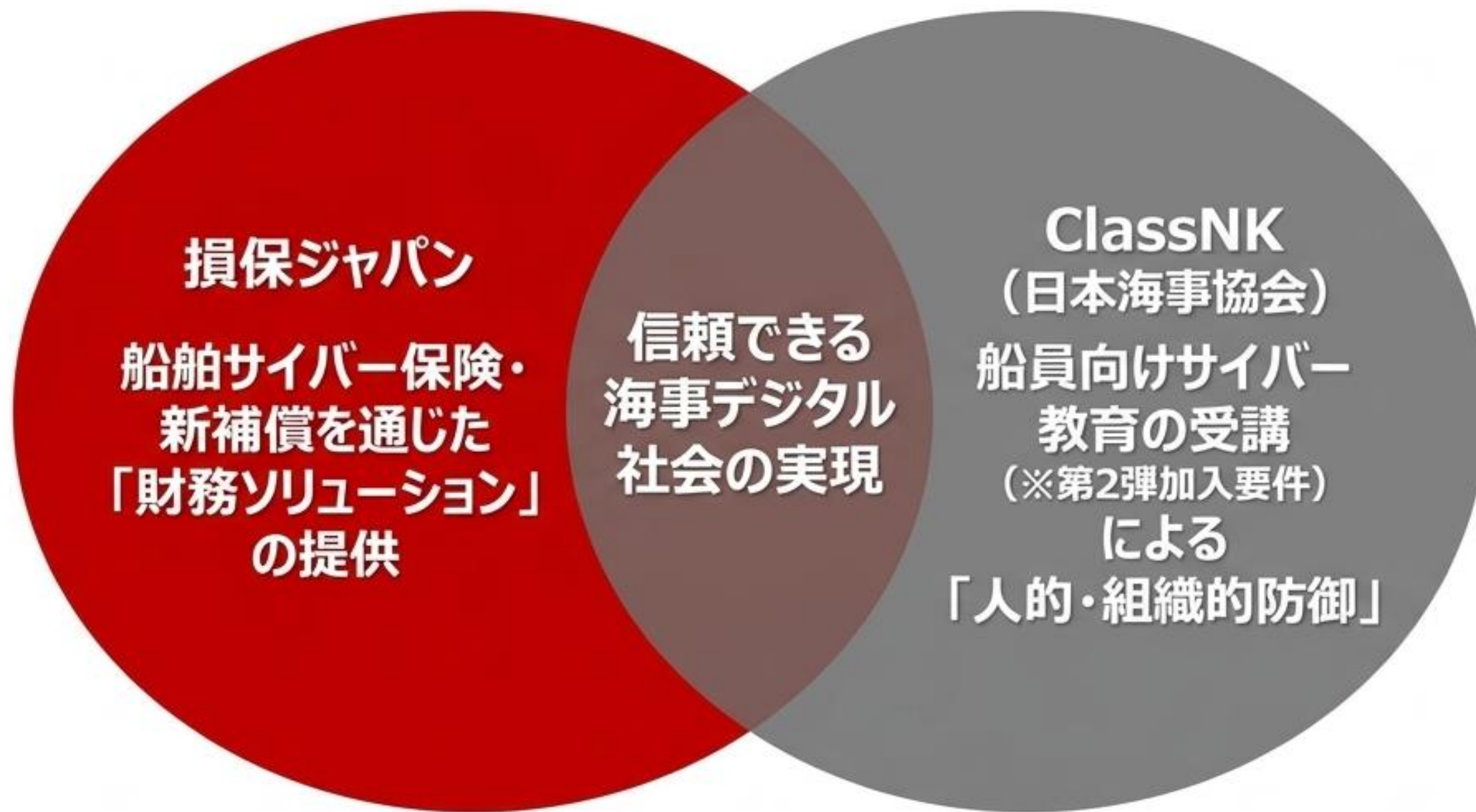


比較項目	従来型：従来の船舶保険	第1弾：船舶サイバー保険 (2025年11月発売)	第2弾：電波干渉に関する補償 (2026年8月発売)
伝統的海上危険 (座礁・衝突等)	○	×	×
サイバー攻撃 (本船の物理的損傷 あり)	×	○	×
サイバー攻撃・電波干渉 (本船の物理的損傷 なし)	×	×	○*

* 電波干渉によって正常運航が不能となり、入港禁止や出港延期処分等を受けたことによる経済損失（逸失利益）を補償。

※ 電子海図の情報改ざんによる航路逸脱からの座礁等、原因調査・復旧費用もカバー（第一弾）

損保ジャパンは、従来型保険と専用型サイバー保険の役割分担を明確化し、
海事産業の空白地帯であった「物理的損害なき経済損失」に対する財務的防御を構築しました。



【SOMPO MARINE CYBER】

海上保険会社の使命は、貿易・流通・海運という社会インフラを安定的に支えること。

我々は予防・教育・技術・財務補償を統合し、デジタルの未来を航行する海事産業の確かな錨（いかり）となります。



**「SOMPO MARINE CYBER」は、海上輸送の安全とデジタルの未来を支える
SOMPOの船舶サイバーセキュリティ・ブランドロゴです。**